

平成28年度 CC I 神奈川 建設ステーション 元気アップコンテストにて  
優秀技能者賞を受賞いたしました

## 受賞者メッセージ

### 優秀技能者賞

この度は、優秀技能者賞を頂きまして大変光栄に存じます。これまで御指導頂きました関係者の皆様に深く感謝致します。

私は、入社してから交通信号機や車再感知器、道路照明などを新設したり、置き基礎を設置し道路形状の変化に合わせて移設する工事を行って来ました。その半分程度が夜間に交通を規制して作業を行うものでした。取設の信号機や電気関係を改良することが多かったため、常に『第三者への配慮』を意識して仕事をしてきました。

我々工事関係者の作業だけを考えて工事を進めた場合、停電やケーブル、工具の落下により第三者災害を起こすリスクが高まります。そこで、協議の段階から現場に足を運び、昼と夜、平日や土曜日・祝祭日にどのような車両が道路を使用するのか、どのような歩行者が通行するのかなどを観察し、あらゆる角度から現場を見て工事を計画します。

また、協議図を元に、縮尺を合わせた図面に作業時の機械配置を記載し、現場で実測しながら必要な作業空間を考え、道路規制図を作成します。作業時に当日の作業員、交通誘導員など含めて全員で役割分担を施工ステップに従って確認し、また周知会も行います。現場で実施することにより、何が危険でその場合にどのように対処すれば良いのかが明確に分かり、さらに個々の名前を挙げて説明することにより、全員がどのように作業を進めればよいのかも明確になります。この作業により、全員の動作が連動して、道路規制開放までの短時間に効率よ

くかつ安全に作業が出来るようになりました。

もう一つ、『当事者意識』について若手への育成にも注力しています。自分の家族が安心して通行出来る道を築造することを想像しながら、納得するまで作業の質を高めることを呼びかけ、実践しています。

作業所では、高速道路の下部工事から作業が始まり、道路を築造して、最後に我々が信号機などを設置します。私は、例えるならバトンリレーの最終走者であり、無事故でバトンが渡されるので、第三者へのトラブルがないよう、さらには、自分自身で災害を起こさないことを目標として、今後も安全作業に取り組んでいきたいと思えます。



千代田電気 株式会社  
宮良 壮

